

光市室積

はやおき

早長八幡宮
秋まつり



令和8年10月11日(日)14時40分

山車巡行出発(小雨決行)



山車10輛と踊山1輛は光市有形民俗文化財に指定されています。

第17回
フォトコンテスト
in室積秋まつり

題材
山車巡行風景

光市室積山車保存会ホームページ
<http://enya.cho-chin.com/>



※詳しくは別紙「応募要項」をご覧ください。
※撮影の際は事故のないよう十分ご注意ください。

主催 光市室積山車保存会・室積商店会 後援 光市



山車巡行經路

早長八幡宮秋まつりの山車巡行は、江戸前期、寛文元年（一六六一）に始まりました。「エンヤ！エンヤ！」の掛け声で、若衆が山車を曳き廻します。曳き立てや、行列が停滞した時には、木遣りを口説きながら、曳き綱を波のようには左右に大きく揺らして山車を練ります。

大幟を立て、黒松と酒樽を載せた山車を先頭に、鳥居、石灯ろうをかたどった山車、こま犬、随神、鏡を載せた山車、御供船の山車があり、行列全体が神社の形態を整えています。

このような山車行列は、現在では全国的にも珍しく、山車行列の原形をとどめる貴重なものだと言われています。

御旅所に到着すると、小物山車を並べて、神社が出現し神事が行われます。

山車には地域の宝である子どもたちを乗せて走ります。

山車十輛と踊山一輛は、光市指定有形民俗文化財です。



- ・山車出発／到着時刻は状況により前後します。
- ・山車行列通過中は交通規制が行われますので現地での指示に従い安全運転をお願いします。

この祭りで唄われる木遣り唄は江戸時代、室積に寄港した北前船の船乗りによつて伝えられました。

秋まつり当日、各自治会ごとにそろいの法被を着た若衆が、木遣りを唄いながら八幡宮へ集まります。

ソリヤヨーイ ヨーイ ヨーイヤナ
アレワエサー コレワエサー ヤーアートセー

祝いえーめでたの　ヨーヨーイ
若松様よ　アーヨーイヨイ
枝が栄えて　アーコリヤコリヤ
お庭が暗い

室積山車練り唄

山車の曳き立てや、行列が停滞し止まつた時にこの唄を唄いながら曳き綱を左右に振り動かし身体をぶつけ合つて山車を練ります。

「ドットコー ドートコリヤ
若いしやー 頼みじやー」 イエー

ホーランエー 一で始まりや ヤーハーエー
アーヤットコセー ヨーイヤナー
エー 始まる一の宮 ヨーホーエコーラー

ソリヤナーンデモ ハリヤードツコイ
ヨーエトコ ヨーエトコセー

室積締め

ひとつ締めまーしょ	×	×
あーもひとつせー	×	×
いよーてしやーのー	×	×